

2011 年 7 月 2 日

丹沢塔ノ岳

石出 崇(H25 卒)

【参加メンバー】

M3 石出・M2 千葉・C2 田中

【コースタイム】

新宿駅 6:31－(小田急線)－7:38 秦野駅 7:45－(タクシー)－8:15 ヤビツ峠 8:25－(1:40)－9:55 三ノ塔
－(1:45)－11:40 新大目－(0:40)－12:20 塔ノ岳 13:20－(0:15)－13:35 金冷シ－(0:50)－14:
25 堀山の家－(1:15)－15:40 大倉(→渋沢駅へ)

【本文】

6 月といえば、もうすぐ潤沢診療所開所、5 月の潤沢コンパでも診療所に興味があり参加してくれた新入生がほとんどということで潤沢準備山行をその年も行うこととなった。一応新入生向けの鎖場、梯子が適度にあり、日帰りで行ける爽やかなところを探していたら、どうやらミニ縦走のある丹沢が相応しいのではということで丹沢に決定した。

…が、当日は新入生達の都合がつかず、来てくれたのは当時 M2 の千葉くん、M1 の田中くんとむしろ自分よりポテンシャルが高いお二人のみ、しかも天気はどんより曇&濃霧と、楽しみにしていた縦走も山頂の景色もお預けという何という引きのない状況か。そんな中でも来てくれたお二人には、今でも感謝してもし切れない。

さて、気持ちだけでも新入生並みにフレッシュにと、しっかりとストレッチをした後、登り開始。したのだが、ここでも自分の引きのなさが続く。登っているうちに千葉くんの足が痛んできたばかりか、天気予報が見事に外れ気温が下がり 6 月の関東とは思えない肌寒さ、暑い山行を想定していた自分は冷たいものばかり揃えてしまい、ガスバーナーを持参していなかったため暖をとることもできなかった。霧は濃くなるばかりで山頂の景色もなく…後日田中君に聞いたところ表面上石出はいつもどおりであったようだが、心の中では必死に濃霧の中道を確保するのとお二人への懺悔の気持ちとで泣きそうであった。

下山後、今までとは対照的に状況の全てが好転し始め、霧も空も晴れ上がり千葉くんの筋疼痛も軽快、景色も山頂ほどではないが視界が開け一同感動。缶チューハイがちょうど売店で売っていたのでそれで乾杯をして終わりとなった。書いているうちにお二人への感謝の気持ちがこみ上げてきてしまった。